ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は
お買いあげの販売店にご相談ください。

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合	新製品などの商品選び、お取り扱い・お手入れ方法などのご相談
東芝家電修理ご相談センター	**東芝家電ご相談センター**
フリーダイヤル 0120-1048-41	フリーダイヤル 0120-1048-86 携帯電話・PHSからのご利用は03-3426-1048 FAX 03-3425-2101（365日・8：00～20：00受付）

電話受付：365日・24時間受付　※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなどの一部の電話ではご利用になれません。

便利メモ	お買いあげ日	年　月　日
	お買いあげ店名	電話（　　）　－

愛情点検

●長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！

このような症状はありませんか。	●スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。 ●コードを動かすと運転が止まるときがある。 ●こげくさい臭いがする。 ●その他の異常がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買いあげの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝クリーナー保証書

持込修理

形名 VC-Y21RC 製造番号		
★お客様	お名前	ふりがな　　様
	ご住所	〒□□□-□□□□
	電話	市外　市内　番号　呼
保証期間	本体	1年　★お買いあげ日　年　月　日から
★ご販売店		住所・店名　電話

株式会社**東芝**　家電機器社　リビングソリューション部
〒101-0021　東京都千代田区外神田1-1-8（東芝万世橋ビル）
電話（03）3257-5864

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、上記保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
また、本商品の履歴管理のために、お客様ご記入済の本保証書の写を保管させていただく場合がございます。上記保証期間中に故障が発生した場合には、本書と商品をご持参のうえ、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

★印欄に記入のない場合は、有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には、直ちにお買いあげの販売店にお申し出ください。本書は、再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   （イ）ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ）お買いあげ後の落下や輸送上の故障および損傷。
   （ハ）火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書に、お買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
   （ヘ）保証書の製造番号と本体の製造番号が一致しない場合。
   （ト）一般家庭用以外（たとえば業務用に使用、車両、船舶などへ備品として搭載）に使用された場合の故障および損傷。
2. 出張修理をご依頼の場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居の場合は、事前にお買いあげの販売店にご相談ください。
6. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買いあげの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。
7. 持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担になります。

修理メモ　修理年月日	修理内容	担当
年　月　日		
年　月　日		
年　月　日		

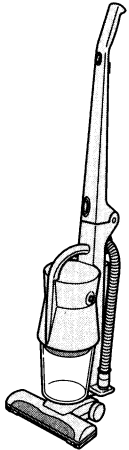
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買いあげの販売店または東芝家電修理ご相談センターにお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

株式会社 **東芝** 家電機器社

AJW−HGK−0

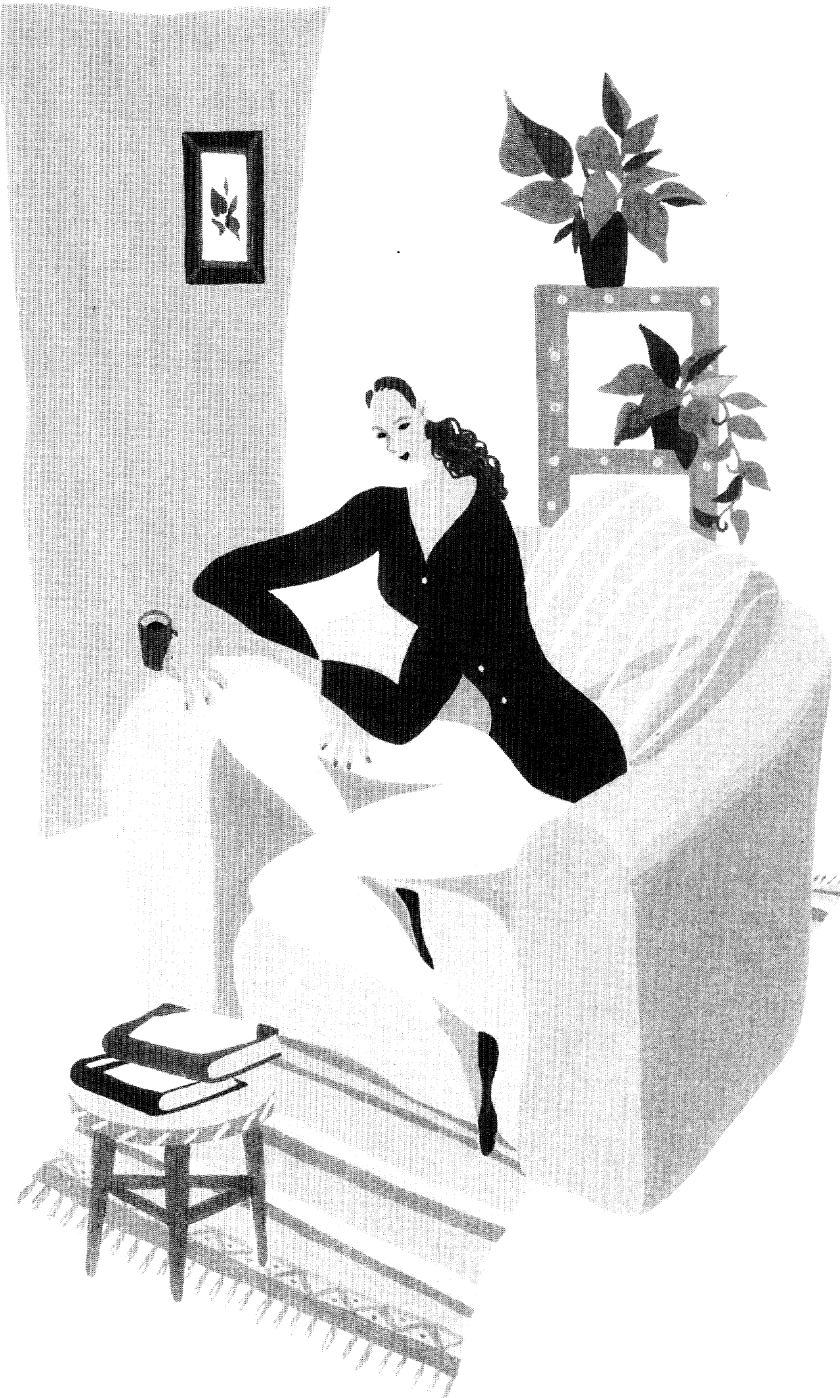
TOSHIBA

東芝マジックサイクロンクリーナー（家庭用）
取扱説明書

形名
VC-Y21RC

もくじ

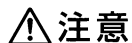
保証書付

保証書はこの取扱説明書の16ページについておりますので記入をお受けください。

- このたびは東芝マジックサイクロンクリーナーをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示の説明

⚠警告 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷＊1を負うことが想定されること」を示します。

⚠注意 「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害＊2を負うことが想定されるか、または物的損害＊3の発生が想定されること」を示します。

＊1:重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止 ⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示 ●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意 △は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

分解禁止
改造はしない
また、修理技術者以外の人は分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買いあげの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

禁止
コード、電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

コンセント
定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。

プラグを抜く
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
感電やけがをすることがあります。

禁止
灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物を吸わせない
火災の原因となります。

水場での使用禁止
水まわりや風呂場での使用は絶対にしない
感電する場合があります。

プラグ
電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

禁止
コードは黄マーク以上引き出さない
コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない
コードが破損し、火災・感電の原因となります。

接触禁止
床ブラシの回転部など底面には触れない
手などをけがすることがあります。
特に小さなお子さまにはご注意ください。

禁止
コードを床ブラシの回転部に巻き込まない
コードの損傷により感電することがあります。

水洗い禁止
本体・ホース・床ブラシ（回転部は除く）は絶対に水洗いしない
感電・故障する場合があります。

禁止
ダストカップを取り付けずに運転をしない
通風口に棒などを入れない
故障する場合があります。

100V以外禁止
交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因となります。

⚠注意

プラグ
電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートして発火することがあります。

禁止
吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体の変形・発火の原因になります。

プラグ
コードを巻き取るときは、電源プラグを持って行う
電源プラグがあたってけがをすることがあります。

プラグを抜く
使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

禁止
排気口はふさがない
火災の原因となります。

火気禁止
火気に近づけない
本体の変形によるショート・発火の原因になります。

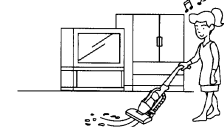
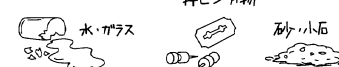
禁止
引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない
爆発や火災の原因になります。

禁止
床ブラシをはずして使用しない
排気風が吹き出して、ゴミを吹きとばすことがあります。

禁止
ハンドルを立てて保管しない
本体が倒れてけがをしたり、床面を傷つけることがあります。

禁止
たたんだ状態のハンドルを持って運ばない
本体が回転・落下して、けがをしたり、床面を傷つけることがあります。

お願い

このクリーナーは家庭用です
●業務用には使用しないでください。
●掃除目的以外には使用しないでください。

つぎのものは吸わせない
■水などの液体や湿ったゴミ。
■ガラス、ピン、刃物など鋭利なもの。
■多量の砂（ペット用砂、パウダー状の粉末など）、小石など目詰まりするもの。
■食品用ラップなどの通気性の悪いもの。
●吸込力の低下やモーター故障、ダストカップの傷つきの原因になります。

ホースを無理に引っ張ったり、折り曲げたりしない　また、ホースを持って本体を吊り下げない
●本体が落下してけがをしたり、床を傷つけることがあります。

床ブラシと本体の間や、ハンドルと本体の間に手を入れない
●手などをけがすることがあります。
●特に小さなお子さまにはご注意ください。

床ブラシやすき間ノズルを床に強く押しつけたり、壁、家具などに強くあてない
●床、たたみの傷つきや、壁、家具などへの色の付着防止のため、力を入れずに片手で軽くすべらせてください。（たたみは目にそってお使いください。）
●砂ゴミの上で床ブラシを使うと、床に傷をつけることがあります。
●床ブラシに無理な力が加わると、故障の原因となります。
●床用ワックス、つや出し床用洗剤をご使用の場合、塗布面に傷がつくことがあります。

各部のなまえとはたらき

ハンドル
コードフック

竹炭フィルター
（本体装着1枚）
ダストカップ

フィルター枠
マジックフィルター
サイクロンカバー
パッキン
サイクロンケース

クランプボタン
本体とって
コード巻き
取りボタン
本体
形名表示位置
けが注意ラベル
床ブラシ
ホース取付部
床ブラシ着脱ボタン
ホース
ダストカップ着脱ボタン

スイッチ

（スイッチ「入」の位置をわかりやすくするため、凸部を設けています。）

「入」　「切」

凸部を押すとモーターが回り、反対側を押すと止まります。

お願い

電源プラグをコンセントに差し込むときは、必ずスイッチを「切」位置にしてください。

●モーターが急に回ると反動で本体が倒れ、けがをすることや床・本体を傷つけることがあります。

ホースフック
すき間ノズル
排気口
コード
運転中は、コードの巻き取り、引き出しをしない。
コードは上向きに引き出さない。（断線の原因になります。）
赤マーク
黄マーク
コードは黄マーク以上引き出さないでください。（断線の原因になります。）
電源プラグ
リーク穴
シールなどでふさがないでください。

お願い

●竹炭フィルターとマジックフィルターは必ず取り付けてください。

●取り付けないと故障の原因となります。

■標準付属品

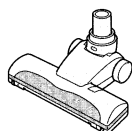
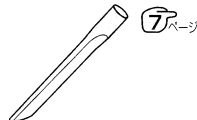
床ブラシ（1個）
（前取りサイクルヘッド）

ホース（1個）

■応用付属品

予備マジック
フィルター（1枚）

すき間ノズル（1個）

7ページ

床ブラシ（前取りサイクルヘッド）

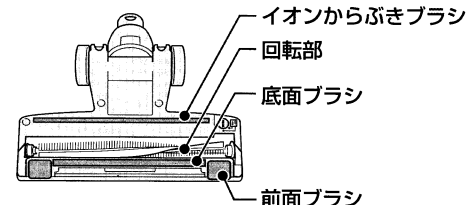
⚠警告

床ブラシの回転部には触れない

手などをけがすることがあります。

回転部について

●ダストカップがゴミでいっぱいになっていなくても、ゴミの種類によっては、回転部が回らないことがあります。このようなときは、ゴミを捨ててください。

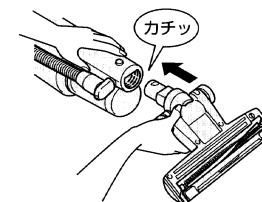
●ホットカーペットや毛足の長いじゅうたん、毛の密度が高いじゅうたんなど、種類によっては床ブラシの回転が止まることがあります。

組み立てかた

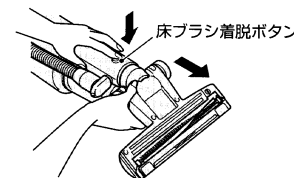
床ブラシのセット

このクリーナーは床ブラシを取り付けることで風が循環するしくみになってます。床ブラシを取り付けない状態では使用できません。

[床ブラシを本体に取り付ける]

本体をねかせ、床ブラシを本体に取り付ける。

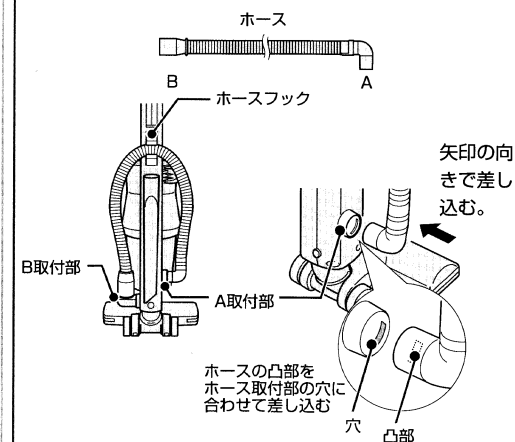
●床ブラシは「カチッ」と音がするまで確実に取り付けます。

[床ブラシをはずすとき]

本体の床ブラシ着脱ボタンを押しながら、床ブラシを引き抜きます。

ホースのセット

1. ハンドルを伸ばす。
   ホースのA側をA取付部に、B側をB取付部に差し込む。
2. ホース中央をホースフックにかける。

お掃除のしかた

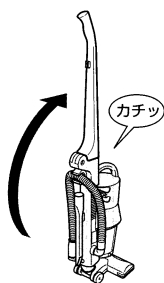
⚠注意

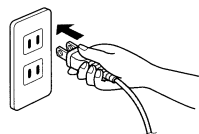
禁止

ハンドルを立てて保管しない
本体が倒れてけがをしたり、床面を傷つけることがあります。

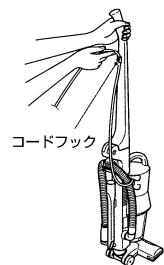
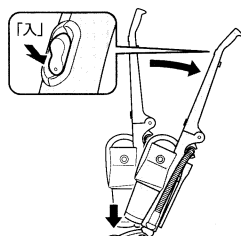
通常のお掃除

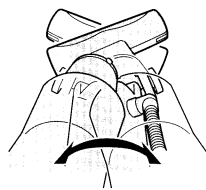
床ブラシからの吸込力が弱くなるので、ホースをお使いにならないときは、ホースを必ず取付部に取り付けてください。

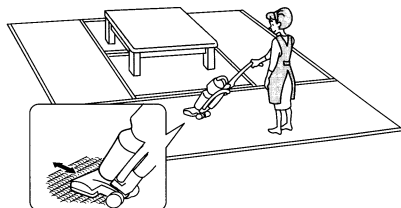
1 ハンドルを立てる

本体とってを押さえ、ハンドルを引き上げる。
- ハンドルは「カチッ」と音がするまで引き上げます。
- コードをハンドルと本体の間に挟み込むとコードを破損する恐れがあります。

2 電源プラグをコンセントに差し込む

コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込みます。

3 コードをコードフックに引っ掛ける

コードをたるませ、コードフックにはめ込みます。

4 床ブラシを押さえながら本体を手前に倒し、スイッチを「入」にしてお掃除する

本体を立てた状態では、床ブラシと本体がロックされます。ご使用の際は、床ブラシを押さえながらロックをはずしてください。

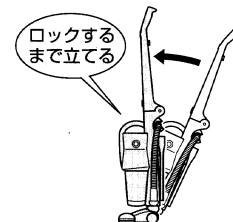
5 ハンドルを左右にねじると、床ブラシの向きをそれぞれの方向に変えることができます。

お願い
- 床面によっては倒れやすい場合がありますので、このような床面で本体から離れるときは、必ず本体をねかせてください。
- 床を傷つけることがありますので、お掃除される際は本体と床ブラシのロックをはずしてください。
- 綿ぼこりが多い場合、ネットフィルターに綿ぼこりが付着し吸込力が低下することがあります。そのときは、ゴミの捨てかた (8ページ) にしたがって、ほこりをネットフィルターから取り除いてください。

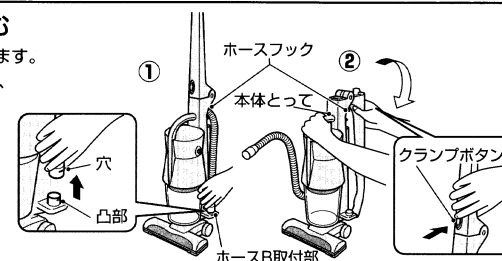
上手なお掃除のしかた
- 大きなゴミはあらかじめ取り除いてからお使いください。
  - ・床ブラシやホース、すき間ノズルなどのゴミづまり防止になります。
- 床ブラシ、ホースやすき間ノズルは軽くすべらせるようにお使いください。
- 床やたたみなどをお掃除するときは、目にそってお使いください。
  - ・楽に動かせ、傷つき防止になります。

- クロスやマットなど薄手の敷物をお掃除するときは、手元を低くしてお使いください。
  - ・より楽にお使いいただけます。
- 新しいじゅうたんでは、ダストカップが遊び毛でいっぱいになりますが、使っているうちに遊び毛は徐々に少なくなります。

すき間ノズルを使ったお掃除

ホースをお使いになるときは、床ブラシを本体に取り付けた状態で、床ブラシと本体を必ずロックしてください。ロックしないとホースからの吸込力が弱くなります。

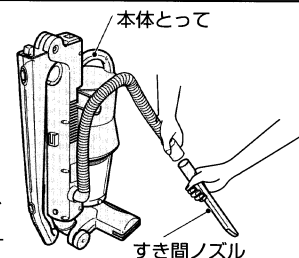
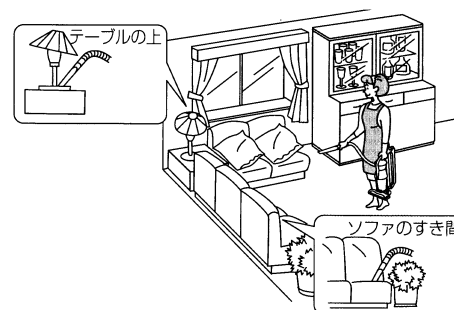
1 スイッチを「切」にし、床ブラシと本体をロックする

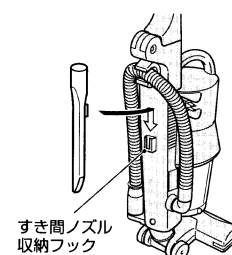
床ブラシを取り付けた状態で、ダストカップが床ブラシの中央にくるように本体を立てていくと、床ブラシと本体がロックされます。

2 ホースを取りはずし、ハンドルをたたむ

① ホースB取付部とホースフックからホースをはずします。
② 本体とってを押さえ、クランプボタンを押しながら、ハンドルを下げてたたみます。
- ハンドルをたたむとき、手などをはさんでけがをしないようご注意ください。
- ホースをハンドルで挟み込むとホースを破損することがあります。

3 スイッチを「入」にする

ホースの先にすき間ノズルをセットしてお掃除します。
- すき間ノズルはホースにしっかりねじこんでからお使いください。
- すき間ノズルは本体の吸込口に直接差し込まないでください。

お願い
- お掃除のときは、本体とってを持ってご使用ください。
- たたんだ状態のハンドルを持って、お掃除をしたり、本体を持ち上げたり、引っ張ったりしないでください。

※手をはさんだり、本体が落下してけがをしたり、床やクリーナーを破損することがあります。

- 部屋のすみやせまいところのお掃除にお使いください。
- 床などに使うと、傷をつけることがあります。
- 20分以上続けて使用しないでください。モーターに負担がかかります。

すき間ノズルの収納

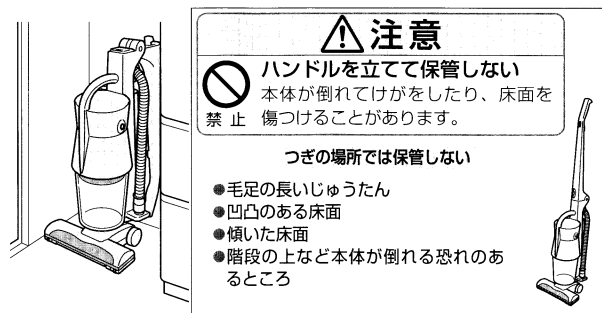
すき間ノズルを図のように差し込んでください。

保管のしかた

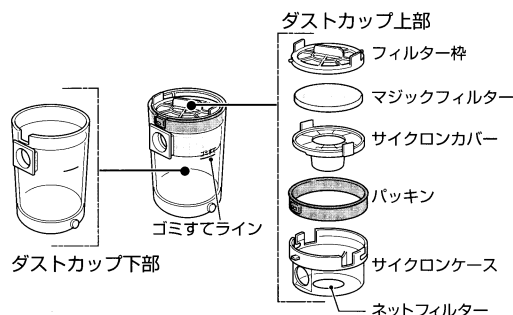
1. お掃除終了後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. コードの巻き取りは、電源プラグを持ち、コード巻き取りボタンを押しながらコードを巻き取ります。
   巻き取れない場合は、コードを1～2m引き出してふたたび巻き取ってください。
3. ダストカップが床ブラシの中央にくるように本体を立てていくと、床ブラシと本体がロックされます。正しくロックされていないと転倒の恐れがあります。
4. ハンドルを必ず折りたたんだ状態にして、お部屋の隅などに保管してください。

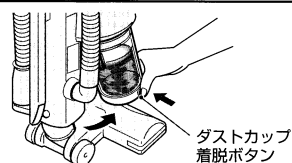
⚠注意

禁止 **ハンドルを立てて保管しない**
本体が倒れてけがをしたり、床面を傷つけることがあります。

つぎの場所では保管しない

- 毛足の長いじゅうたん
- 凹凸のある床面
- 傾いた床面
- 階段の上など本体が倒れる恐れのあるところ

ゴミの捨てかた

- お掃除が終わったらこまめにゴミを捨てましょう。
- ゴミすてラインを超えると吸込力が低下します。
- ダストカップの中でゴミが回転しなくなっても、ゴミ捨てライン以下であれば吸込力に影響はありません。
- ゴミ捨てラインを超えなくても綿ぼこりが多い場合、ネットフィルターに綿ぼこりが付着し、吸込力が低下することがあります。そのときはほこりをネットフィルターから取り除いてください。

ゴミを捨てる前にはスイッチを切り運転を止め、電源プラグを抜いてください。

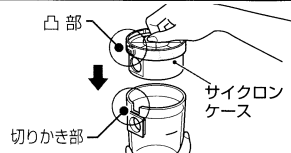
1 本体を押さえダストカップ着脱ボタンを押しながら、ダストカップをはずす

2 フィルター枠のとってを持ち上げ、ダストカップ上部をはずす

- ゴミがこぼれる場合がありますので大きめの紙袋（ポリ袋）や、ゴミ容器の中ではずしてください。

※ダストカップの上部にもゴミがたまっているようでしたら、ダストカップ上部のゴミの捨て方 9ページ にしたがって捨ててください。

3 大きめの紙袋（ポリ袋）や、ゴミ容器の中でゴミを捨てる

- ゴミを捨てる前にダストカップの側面を軽くたたくと、ゴミが落ちやすくなります。
- ネットフィルターにゴミが付着しているときは、このゴミも捨ててください。

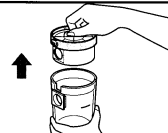
4 ダストカップの切りかき部とサイクロンケースの凸部を合わせ、セットする

5 本体とダストカップのマークを合わせ、ダストカップをカチッと音がするまで本体に押し付ける

- ダストカップ下側を持って本体に押し付けると取り付けやすくなります。
- コードをダストカップと本体の間に挟み込むとコードを破損する恐れがあります。

ダストカップ上部のゴミの捨てかた

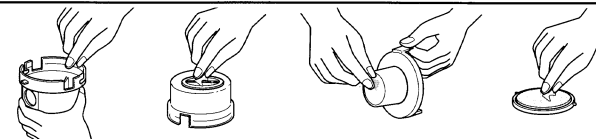
大きなゴミを吸ったときや、ゴミ捨てラインを超えてゴミを吸ったとき、ゴミの種類によっては、ダストカップ上部にゴミが残ってしまうことがあります。週1～2回はフィルター枠をとりはずして中のゴミを取り除いてください。

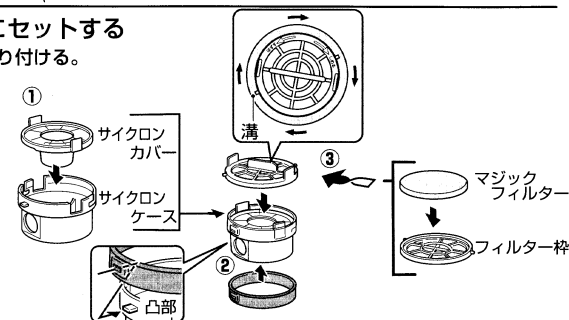
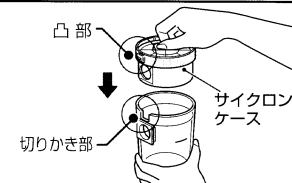
1 フィルター枠のとってを持ち上げ、ダストカップ上部をはずす

- ゴミがこぼれる場合がありますので大きめの紙袋（ポリ袋）や、ゴミ容器の中ではずしてください。

2 フィルター枠とサイクロンカバーをはずす

①フィルター枠を反時計回りにまわして溝に合わせてはずす。（つめでフィルターを傷付けないようにする）
②パッキンをはずす。
③サイクロンカバーをはずす。

3 ゴミを取り除く

サイクロンケース、サイクロンカバー、フィルターについたゴミを取り除く。

4 ダストカップ上部をダストカップにセットする

①サイクロンケースにサイクロンカバーを取り付ける。
②パッキンを取り付ける。
③サイクロンケースにフィルター枠を取り付ける。

5 ダストカップの切りかき部とサイクロンケースの凸部を合わせ、セットする

※ダストカップ上部のゴミを捨てても吸込力が弱い場合は、お手入れ 10ページ を行ってください。

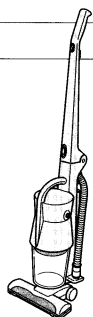
お手入れ

マジックサイクロンクリーナーは遠心力によってゴミと空気を分離します。
そのため、空気の通り道であるフィルターが目づまりすると吸引力が弱まります。
性能を維持するために、こまめにお手入れ（水洗い）してください。

⚠警告

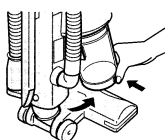
接触禁止

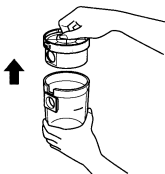
本体・ホース・床ブラシ（回転部は除く）は絶対に水洗いしない
感電・故障する場合があります。

- ●お手入れの前にはスイッチを「切」にして運転を止め、電源プラグを抜いてください。
- ●床ブラシの回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。お掃除の最後に、週に1～2度お手入れしましょう。

本体・付属品

●本体や付属品が汚れたときは、水または中性洗剤をふくませ、十分にしぼった布でふいてください。ベンジンなどでふくと、ひび割れ、変形、変色の原因になります。

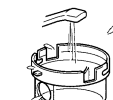
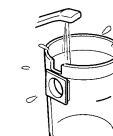
マジックフィルター・ダストカップ

1 本体を押さえダストカップ着脱ボタンを押しながらダストカップをはずす

2 フィルター枠のとってを持ち上げ、ダストカップ上部をはずす

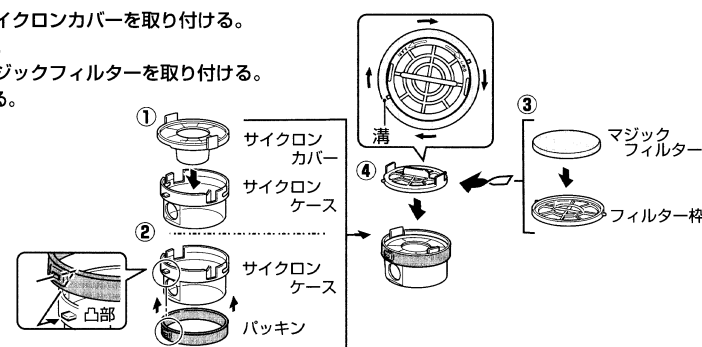
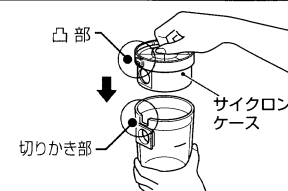
●ゴミがこぼれる場合がありますので大きめの紙袋（ポリ袋）や、ゴミ容器の中ではずしてください。

3 ダストカップ上部からマジックフィルターをはずす

①フィルター枠を反時計回りにまわして溝に合わせてはずす。
（つめでフィルターを傷付けないようにする）
②フィルター枠からマジックフィルターをはずす。

4 マジックフィルターを押し洗いし、中のゴミを取り除いた後、水気をきり十分に乾燥させる

・フィルター枠、サイクロンカバー、パッキン、サイクロンケース、ダストカップも水洗いし、ゴミを取り除き十分に乾燥させる。

- ●お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままでご使用になると故障の原因になります。
- ●細かいゴミを吸ったときはフィルターをたたき、ゴミを落としてから水洗いしてください。
- ●毛のかたいブラシで洗ったり、ネットを強く押して洗わないでください。破損の原因になります。
- ●性能、品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具・ドライヤーなどで乾かさないでください。

5 ダストカップ上部をダストカップにセットする

①サイクロンケースにサイクロンカバーを取り付ける。
②パッキンを取り付ける。
③フィルター枠裏側にマジックフィルターを取り付ける。
④フィルター枠を取り付ける。

6 ダストカップの切りかき部とサイクロンケースの凸部を合わせ、セットする

7 本体とダストカップのマークを合わせ、ダストカップをカチッと音がするまで本体に押し付ける

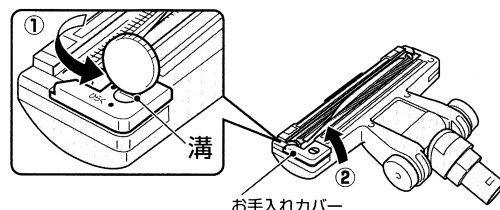
- ●ダストカップ下側を持って本体に押し付けると取り付けやすくなります。
- ●コードをダストカップと本体の間に挟み込むとコードを破損する恐れがあります。

（つづく）

床ブラシ（前取りサイクルヘッド）

お手入れは本体をねかせてから、床ブラシを取りはずしておこなってください。

1 床ブラシを裏返し、お手入れカバーをはずす

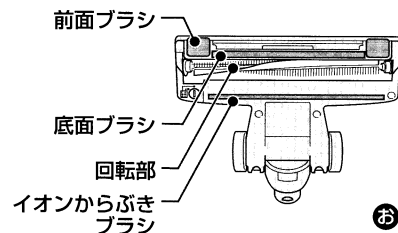
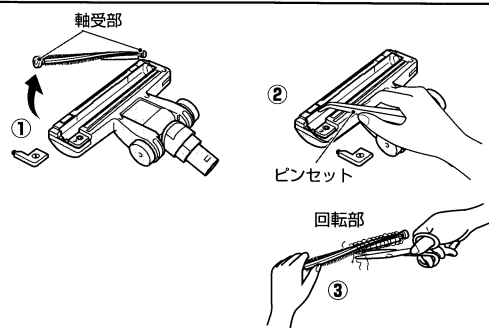
①溝にコインを入れ、「ひらく」の位置に合わせる。
②お手入れカバーを持ちあげる。

2 回転部をはずし、ゴミを取り除く

①回転部を持ちあげ矢印の方向に引き抜く。
②床ブラシ内についているゴミを取り除く。
③回転部に糸くずや毛がからみついたときは、
はさみなどで取り除く。

軸受部

①

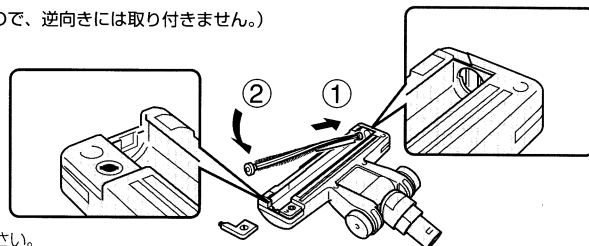
②

ピンセット

お願い ●前面ブラシ、底面ブラシ、イオンからぶきブラシについたゴミを手で取り除いてください。

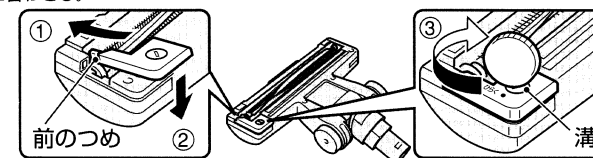
3 回転部を水で洗い、陰干にして十分に乾燥させる

4 十分な乾燥を確認して、回転部を取り付ける

①軸受部の小さい方を矢印の方向に取り付ける。
②回転部を取り付ける。
（回転部には左右の方向性がありますので、逆向きには取り付きません。）

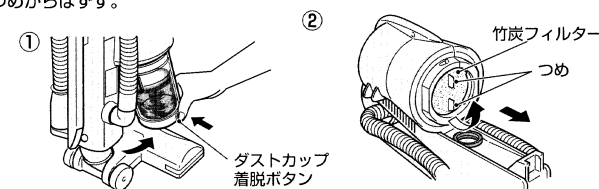
② ①

お願い 回転部の軸受部に注油しないでください。

5 お手入れカバーを取り付ける

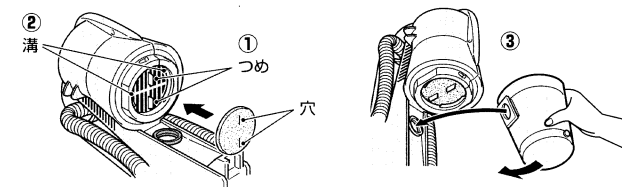
①お手入れカバー側にある前のつめを合わる。
②矢印の方向にセットする。
③溝にコインを入れ、「しまる」の位置に合わせる。

竹炭フィルター

フィルター・ダストカップをお手入れしても吸込力が弱いときは、お手入れし確実にセットしてください。

1 本体をねかせ、本体から竹炭フィルターをはずす

①ダストカップをはずす。
②竹炭フィルターの隅を引き出し、つめからはずす。

2 押し洗い後、十分に乾燥させる

3 本体に取り付ける

①穴をつめに合わせ差し込む。
②竹炭フィルターを溝にはめる。
③ダストカップを取り付ける。
●コードをダストカップと本体の間に挟み込むとコードを破損する恐れがあります。

お願い ●性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具・ドライヤーなどで乾かさないでください。
●竹炭フィルターは、すき間がないようにセットしてください。

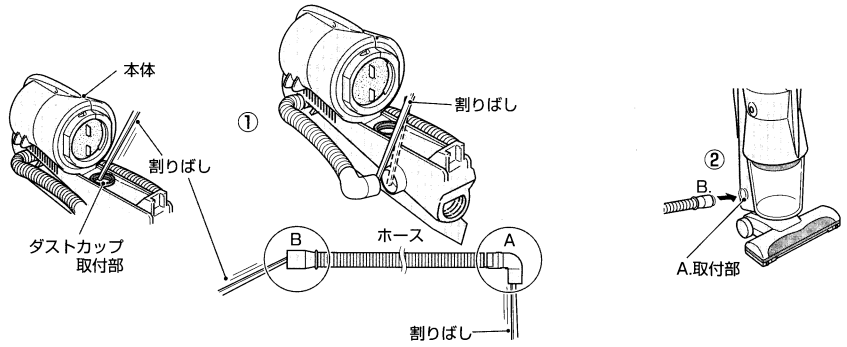
保護装置について

モーターの過熱を防ぐため、本体内部に運転を止める保護装置がついています。
次のようなとき、保護装置がはたらきますのでお手入れをしてください。

- ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けたとき
  砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミなど、吸い込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置がはたらくことがあります。
- 床ブラシやすき間ノズルなどにゴミがつまったまま運転し続けたとき
- すき間ノズルで連続運転使用したとき
- 夏期など室温が35℃を越えるとき
- 吸込口や排気口をふさいで連続運転し続けたとき

保護装置の直しかた

1. スイッチを切ってから電源プラグをコンセントから抜く。
2. ゴミを捨て床ブラシやホースの根元、ダストカップ取付部につまったゴミを取り除く。
   ①本体をねかせ、床ブラシとホース、ダストカップをはずし、つまったゴミを割りばしなどで取り除く。
   ②ホース途中にモノがつまったとときは、A取付部にホースB側をあて、吸わせる。
3. 涼しい場所に置く。

▶ **約1時間後、保護装置が解除され、再び使用できます。**

仕 様

電源	消費電力	外形寸法			質量	吸込仕事率（真空度、風量）	運転音	集じん容量	コードの長さ	付属品
		長さ	幅	高さ						
100V 50-60Hz 共用	500W	220 mm（使用時） 280 mm（折りたたみ時）	250 mm（使用時） 250 mm（折りたたみ時）	1030 mm（使用時） 550 mm（折りたたみ時）	2.6kg （床ブラシ、ホースを含む）	※ ――	61dB	0.6L	5m	標準付属品 床ブラシ………1個 ホース・………1個 応用付属品 予備マジックフィルター…1枚 すき間ノズル…1個

※吸込仕事率はJIS C9108に規定する測定方法によって測定できないので記載しない。

このようなときは

⚠警告 改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買いあげの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

修理サービスを依頼する前に

●ご使用中に異常が生じたときは、次の点をお調べください。

このようなときは ▶	調べるところ ▶	直しかた	参照ページ
モーターが回転しない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	→しっかり差し込んでください。	4~6
	●ダストカップがゴミでいっぱいになったり、ホースや床ブラシにゴミがつまっていませんか。	→本体の保護装置がはたらいています。	14
吸込力が弱い	●ダストカップがゴミでいっぱいになってませんか。	→ゴミを捨ててください。	8~9
	●マジックフィルターの汚れがひどくありませんか。	→お手入れしてください。	10~11
	●ホースや床ブラシにゴミがつまっていませんか。	→ホースや床ブラシをはずしてゴミを取り除いてください。	12~14
	●竹炭フィルターの汚れがひどくありませんか。	→お手入れしてください。	13
	●床ブラシ使用中、ホースがホース取付部に取り付けられていますか。	→しっかり取り付けてください。	5
	●ホース使用中、床ブラシのロックがはずれていませんか。	→本体を立ててロックしてください。	7
床ブラシの回転部が回転しない	●ダストカップがゴミでいっぱいになってませんか。（土・砂ぼこりなどのゴミでは、ダストカップ内のゴミが半分以下でも回転しなくなることがあります。）	→ゴミを捨ててください。	8~9
	●回転部のまわりに糸くずがたくさん巻きついていませんか。	→取り除いてください。	12~13
	●ホースがホース取付部に取り付けられていますか。	→しっかり取り付けてください。	5
コードが巻き取れない引き出せない	●コードが片よって巻き取られていませんか。	→1~2m引き出してふたたび巻き取ってください。	4
	●コードがからんでいませんか。	→コード巻取りボタンを押しながら「巻き取る」「引き出す」操作を2~3回くり返してください。	4

それでも異常のある場合は、15~16ページの保証とアフターサービスをご参照ください。
- ご使用中、本体およびコード、排気風が熱く感じてきますが異常ではありません。モーターの熱のためです。
- ゴミがたまってくるとモーターの回転数が高くなり、音が少し大きくなりますが異常ではありません。
- ご自分での修理は、危険な場合がありますから絶対にしないでください。

保証とアフターサービス （必ずお読みください）

保証書（一体）

- 保証書はこの取扱説明書の16ページに記載されております。
- 保証書は、必ず「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買いあげの日から1年間です。**
  詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- クリーナーの補修用性能部品は製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- クリーナーに使用している部品は性能向上のため一部予告なしに変更することがあります。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　　持込修理

上記に従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店にご相談ください。

■保証期間中は
保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは
保証期間経過後の修理については、お買いあげの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

（つづく）